

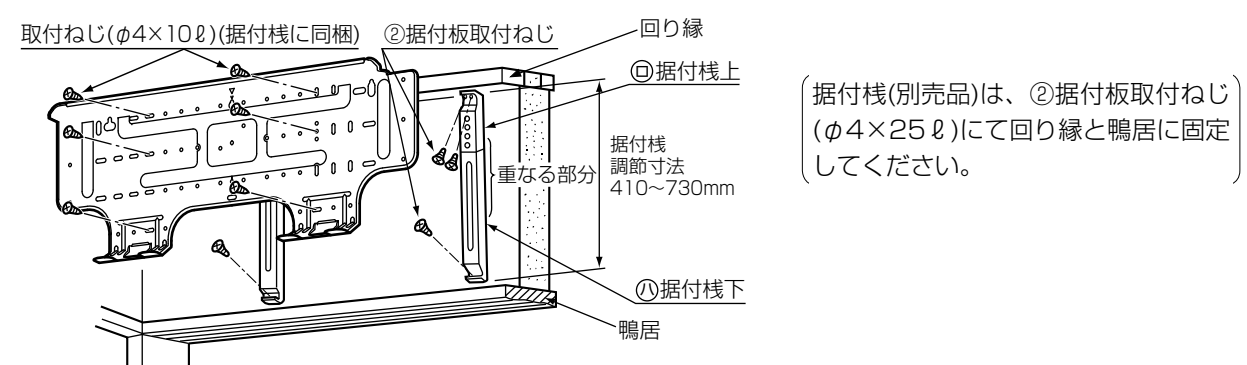
別売品や幹旋品を使用した据え付け方法

1. 据付棧 (RB-IO1K1またはRB-IO2K1)

回り縁と鴨居を利用する場合

据付棧 (別売品) をお使いください。

- 据付棧上・下を回り縁下面から鴨居上面までの寸法に調整し、据付棧に同梱のねじ (φ4×10ℓ) で据付板を仮止めします。
- 仮組みした据付板と据付棧を②据付板取付ねじ (φ4×25ℓ) で回り縁と鴨居へ固定します。
- 据付板の水平を確認してから仮止めのねじをしっかりと締め付けます。
- 据付板の最上部と下部の引っ掛け部付近は必ずねじ止めしてください。



お願い

- 据付板を据付棧上と据付棧下が重ならない部分で固定する場合は、M4六角ナットで据付棧下の裏からとめてください。(六角ナットはRB-IO1K1、RB-IO2K1に同梱しています)
- 据付棧は上と下を使用し、据付棧取付ピッチ (型紙に記載) で取り付けてください。このように取り付けない場合は、ビビリ音が発生することがあります。

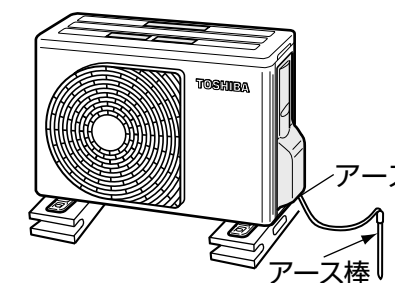
2. アース棒 (RB-Y11)

接地工事のしかた

- 室外または室内ユニットのどちらか一方のアース端子より接地工事を行ってください。

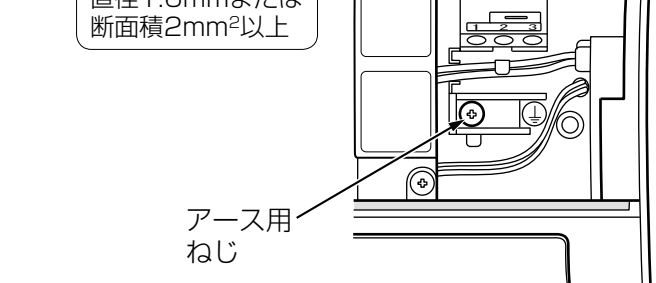
室外ユニットからアースを行う場合

アース棒は同梱されています。
(アース棒は別売のRB-Y11をお使いください。)



室内ユニットからアースを行う場合

アース線は、付属されていません。(現地調達)
直径1.6mmまたは断面積2mm²以上



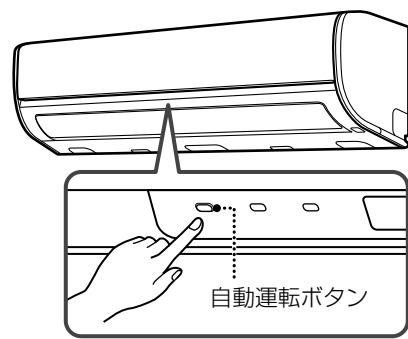
お願い

- アース工事を行う際には、電源プラグを抜いた状態で実施してください。
- 漏電ブレーカーが働く場合は衝撃波不動作形の漏電ブレーカーに交換してください。
- 漏電警報器が働く場合は漏電警報器の設定を変更してください。

据付工事完了後、必ず実施してください

試運転

- 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認します。
- 「自動運転」ボタンを10秒以上押しと「ピッ」と音が鳴り、強制冷房運転になります。約3分後に運転を開始します。
- 運転を始めたときは、配線を確認してください。
- 試運転を停止するときは、「自動運転」ボタンをもう一度押します。
- リモコンのボタンを押して、リモコンでも運転することを確認します。



3分間再起動防止タイマーについて

エアコンを起動するときや運転を切り換えたときは、約3分間運転を始めません。これは本体保護のため故障ではありません。

こんなとき

室内ユニットが運転しない

- 100V機種の場合は、電源電圧が200Vになっている可能性がありますので、電源電圧の確認をお願いします。200Vを誤印加すると故障します。

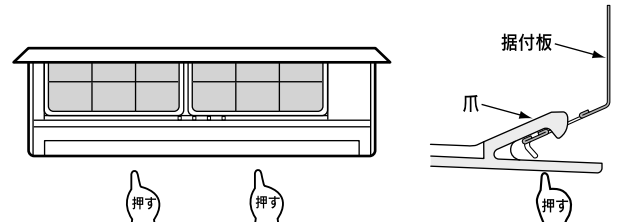
室外ユニットが運転しない

- Fケーブルの接続不良が考えられます。接続の再確認をお願いします。(運転・タイマーランプが点滅し、お知らせします)
- 200V機種の場合は、電源電圧が100Vになっている可能性がありますので、電源電圧の確認をお願いします。(運転・タイマーランプが点滅し、お知らせします)

据付後の取りはずしかた(移設時など)

■室内ユニット

室内ユニット下側の「PUSH」を上を押しながら手前に引きます。



■室外ユニット

地球環境保護の観点から、ポンプダウン (冷媒回収) をしてから取りはずします。

警告

ポンプダウン作業では、次のことを確実に行う

- 冷媒サイクル内に空気を混入させない
- サービスバルブを2つとも閉じたあと、圧縮機を停止させ冷媒配管をはすす

圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはすと空気などを吸引し、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂、けがなどの原因になります。

●ポンプダウンのしかた (移設時など)

- ① 室内ユニットの「自動運転」ボタンを約10秒押します。
(「ピッ」と音がして強制冷房運転が始まります)
- ② 5分~10分後に液側サービスバルブの弁棒を閉めます。
- ③ さらに2分~3分冷房運転後ガス側サービスバルブの弁棒を閉め、運転を停止します。
- ④ 液側とガス側の接続配管を取りはずします。

